

# 工事種別別完成工事高 工事種別別元請完成工事高

審査対象事業年度の審査対象事業年度又は 前審査対象事業年度及び前々審査対象事業年度		審査対象事業年度		計算基準の区分	
項番	3 1	11 13 15 17 19	11 13 15 17 19	11 13 15 17 19	11 13 15 17 19
3 1	自 0 5 年 0 4 月 至 0 7 年 0 3 月	自 0 7 年 0 4 月 至 0 8 年 0 3 月	2 ( 1.2年平均 2.3年平均 )		
審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 6 年 4 月 ~ 7 年 3 月 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 5 年 4 月 ~ 6 年 3 月					
業 種 コ ー ド	完 成 工 事 高 千円	元 請 完 成 工 事 高 千円	完 成 工 事 高 千円	元 請 完 成 工 事 高 千円	
3 2 0 1 0	8 8 8 7 0	8 8 8 7 0	8 0 4 0 0	8 0 4 0 0	
工事の種類	完 成 工 事 高 計 算 表	元 請 完 成 工 事 高 計 算 表	3年平均で申請する場合は、完成工事高計算表の合計を2で除した数値を記入(千円未満の端数切り捨て)		完成工事高及び元請完成工事高は消費税抜きの金額で記入(ただし、免税事業者は消費税込み。)
コード順に記入	審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 86,500 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 91,240	審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 86,500 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 91,240			
土木一式 工事					
3 2 0 1 1	0	0	0	0	
工事の種類	完 成 工 事 高 計 算 表	元 請 完 成 工 事 高 計 算 表	「土木一式工事」を申請する場合、コード「011」の「プレストレストコンクリート構造物 工事」も必ず記載すること		
プレストレスト コンクリート構造物 工事	審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 0 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 0	審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 0 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 0			
3 2 0 5 0	3 6 5 5 0	3 0 4 9 9	4 1 2 9 0	3 6 6 0 0	
工事の種類	完 成 工 事 高 計 算 表	元 請 完 成 工 事 高 計 算 表			
とび土工・ コンクリート 工事	審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 38,500 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 34,600	審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 31,234 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 29,765			
3 2 0 5 1	1 8 0 9 5	1 5 1 8 7	2 0 7 5 3	1 7 4 5 5	
工事の種類	完 成 工 事 高 計 算 表	元 請 完 成 工 事 高 計 算 表	「とび土工・コンクリート工事」を申請する場合、コード「051」の「法面処理 工事」も必ず記載すること		
法面処理 工事	審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 18,500 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 17,690	審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 15,500 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度 14,875			
3 3	3 5 10 13 15 20	23 25 30 33 35 40			
その他					
工事の種類	完 成 工 事 高 計 算 表	元 請 完 成 工 事 高 計 算 表			
その他 工事	審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度	審査対象事業年度の 前審査対象事業年度 審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度			
3 4	3 5 10 13 15 20	23 25 30 33 35 40			
合計					

契約後VEに係る完成工事高の評価の特例 ( 1. 有 2. 無 )

[illegible]

25

## 2 工事種類別完成工事高・工事種類別元請完成工事高【20002 帳票】

審査は、審査基準日の直前2年間（24か月分）又は直前3年間（36か月分）の事業年度に基づいて行います。したがって、組織変更、決算期変更等により2事業年度又は3事業年度では24か月又は36か月に満たない場合は、[28ページ](#)の計算方法により行います。

審査の対象は、工事進行基準により収益に計上する場合における期中出来高相当額、工事完成基準により収益計上する場合における最終総請負高について審査します。なお、共同企業体による工事の場合は、企業体全体の完成工事高に出資の割合を乗じた額が審査対象の工事高となります。

また、本表に計上することができるのは建設工事に係る完成工事高に限られますので、[別表8](#)に記載されている29工種のいずれかに分類されることになります。ただし、審査を申請しない工種の完成工事高は、「その他」工事として一括して計上してください。

なお、製作、除雪、草刈、点検、調査、保守・管理委託等は、建設工事に該当しない（[別表8](#)に記載されている29工種のいずれにも該当しない）ため、それらに係る売り上げ（兼業売上高）は、本表に計上することはできません。また、「その他」工事に計上することもできませんので注意してください。完成工事高は消費税抜きの金額で記入してください。（免税事業者を除く。）

### 1 [3](#) [1](#) 「審査対象事業年度」の欄は、次の例により記入してください。

#### （1）12か月ごとに決算を完結した場合

（例）令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度について申請する場合  
自令和07年04月 ～ 至令和08年03月

#### （2）6か月ごとに決算を完結した場合

（例）令和7年10月1日から令和8年3月31日までの事業年度について申請する場合  
自令和07年04月 ～ 至令和08年03月

#### （3）商業登記法（昭和38年法律第125号）の規定に基づく組織変更の登記後最初の事業年度その他12か月に満たない期間で終了した事業年度について申請する場合

（例1）合名会社から株式会社への組織変更に伴い令和7年10月1日に当該組織変更の登記を行った場合で令和8年3月31日に終了した事業年度について申請するとき  
自令和07年04月 ～ 至令和08年03月

（例2）申請に係る事業年度の直前の事業年度が令和7年3月31日に終了した場合で事業年度の変更により令和7年12月31日に終了した事業年度について申請するとき  
自令和07年01月 ～ 至令和08年12月

#### （4）事業を承継しない会社の設立後最初の事業年度について申請する場合

（例）令和7年10月1日に会社を新たに設立した場合で令和8年3月31日に終了した最初の事業年度について申請するとき  
自令和07年10月 ～ 至令和08年03月

#### （5）事業を承継しない会社の設立後最初の事業年度の終了の日より前の日に申請する場合

（例）令和7年10月1日に会社を新たに設立した場合で最初の事業年度の終了の日（令和8年3月31日）より前の日（令和7年11月1日）に申請するとき  
自令和07年10月 ～ 至令和00年00月

### 2 [3](#) [1](#) 「審査対象事業年度の前審査対象事業年度又は前審査対象事業年度及び前々審査対象事業年度」の欄は、「審査対象事業年度」の欄に記入した期間の直前の審査対象事業年度の期間を1の例により記入してください。

ただし、審査対象事業年度及び審査対象事業年度の直前2年の審査対象事業年度の完成工事高及び元請完成工事高について申請する場合にあっては、直前2年の各審査対象事業年度の期間を1の例により記入し、下欄に直前2年の各審査対象事業年度の期間をそれぞれ記入してください。

- 3 [3][2]「業種コード」の欄は、次のコード表により該当する工事の種類に応じ、該当するコードをカラムに記入してください。

なお、「土木一式工事」について記入した場合においてはその次の「業種コード」の欄は「プレストレストコンクリート構造物工事」のコード「011」を記入し、「完成工事高」の欄には「土木一式工事」の完成工事高のうち「プレストレストコンクリート構造物工事」に係るものを記入することとし、当該工事に係る実績がない場合においてはカラムに「0」を記入してください。また、「元請完成工事高」の欄には「土木一式工事」の元請完成工事高のうち「プレストレストコンクリート構造物工事」に係るものを記入することとし、当該工事に係る実績がない場合においてはカラムに「0」を記入してください。同様に、「とび・土工・コンクリート工事」に記入した場合においては「業種コード」の欄に「法面処理工事」のコード「051」を記入し、「鋼構造物工事」に記入した場合においては「業種コード」の欄に「鋼橋上部工事」のコード「111」を記入し、それぞれの工事に係る完成工事高及び元請完成工事高を記入してください。

コード	工事の種類	コード	工事の種類	コード	工事の種類
010	土木一式工事	100	タイル・れんが・ブロック工事	200	機械器具設置工事
011	プレストレストコンクリート構造物工事	110	鋼構造物工事	210	熱絶縁工事
020	建築一式工事	111	鋼橋上部工事	220	電気通信工事
030	大工工事	120	鉄筋工事	230	造園工事
040	左官工事	130	舗装工事	240	さく井工事
050	とび・土工・コンクリート工事	140	しゅんせつ工事	250	建具工事
051	法面処理工事	150	板金工事	260	水道施設工事
060	石工事	160	ガラス工事	270	消防施設工事
070	屋根工事	170	塗装工事	280	清掃施設工事
080	電気工事	180	防水工事	290	解体工事
090	管工事	190	内装仕上工事		

- 4 「完成工事高」の欄は、[3][1]で記入した審査対象事業年度別に完成工事高を記入してください。また、「元請完成工事高」の欄においても同様に、審査対象事業年度別に元請完成工事高を記入してください。

ただし、審査対象事業年度及び審査対象事業年度の直前2年の審査対象事業年度について申請する場合にあっては、完成工事高においては審査対象事業年度の直前2年の各審査対象事業年度の完成工事高の合計を2で除した数値（千円未満の端数が生じる場合には、当該端数を切り捨てた数値）を記入し、「完成工事高計算表」に直前2年の審査対象事業年度ごとに完成工事高を記入してください。同様に、元請完成工事高においても審査対象事業年度の直前2年の各審査対象事業年度の元請完成工事高の合計を2で除した数値（千円未満の端数が生じる場合には、当該端数を切り捨てた数値）を記入し、「元請完成工事高計算表」に直前2年の審査対象事業年度ごとに元請完成工事高を記入してください。

- 5 [3][3]「その他工事」の欄は、審査対象建設業以外の建設業に係る建設工事の完成工事高及び元請完成工事高をそれぞれ記入してください。

- 6 [3][4]「合計」の欄は、[3][2]と[3][3]に記入した完成工事高の合計を記入してください。同様に、元請完成工事高においては、元請完成工事高の合計を記入してください。

- 7 この表は、審査対象建設業に係る3のコード表中の工事の種類（「プレストレストコンクリート構造物工事」、「法面処理工事」、「鋼橋上部工事」もそれぞれ1つとする。）4つごとに作成してください。また、項番[3][3]「その他工事」の欄及び項番[3][4]「合計」の欄は最後の用紙のみに記入してください。

8 用紙ごとに、契約後VE（施工段階で施工方法等の技術提案を受け付ける方式をいう。以下同じ。）に係る工事の完成工事高について、契約後VEによる縮減変更前の契約額で評価をする特例の利用の有無について記入してください。

9 記入すべき金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示してください。

10 決算期変更等により、経営事項審査の申請をする日の属する事業年度の開始の日の直前2年（又は直前3年）の間に開始する各事業年度に含まれる月数の合計が24か月（又は36か月）に満たない場合は、次の算式により、直前2年又は3年の完成工事高を算定してください。

（例）3月決算から12月決算に変更した場合の記載例（3年平均を採用）

審査対象事業年度の前々々期		審査対象事業年度の前々期		審査対象事業年度の前期		審査対象事業年度		経営事項審査の申請をする 日の属する事業年度
--	D（12か月）	--	C（12か月）	--	B（12か月）	--	A（9か月）	-----
	360,000千円		280,000千円		240,000千円		180,000千円	
決算日		決算日		決算日		決算日		決算日 申請日 （変更決算日）

〔算式〕 + + =直前3年の完成工事高

審査対象事業年度の完成工事高

$$Aの完成工事高 + \left( Bの完成工事高 \times \frac{12か月 - Aの月数}{12か月} \right)$$

前審査対象事業年度の完成工事高

$$\left( Bの完成工事高 + \frac{Aの月数}{12か月} \right) + \left( Cの完成工事高 \times \frac{12か月 - Aの月数}{12か月} \right)$$

前々審査対象事業年度の完成工事高

$$\left( Cの完成工事高 + \frac{Aの月数}{12か月} \right) + \left( Dの完成工事高 \times \frac{12か月 - Aの月数}{12か月} \right)$$

〔具体的な計算例〕 240,000千円 + 250,000千円 + 300,000千円=790,000千円

$$\cdots 180,000千円 + \left( 240,000千円 \times \frac{12か月 - 9か月}{12か月} \right) = 240,000千円$$

$$\cdots \left( 240,000千円 + \frac{9か月}{12か月} \right) + \left( 280,000千円 \times \frac{12か月 - 9か月}{12か月} \right) = 250,000千円$$

$$\cdots \left( 280,000千円 + \frac{9か月}{12か月} \right) + \left( 360,000千円 \times \frac{12か月 - 9か月}{12か月} \right) = 300,000千円$$

〔記入例〕

<p>前審査対象事業年度及び前々審査対象事業年度の 完成工事高を算定する際に用いた決算期間を記入</p>							
<p>審査対象事業年度の前審査対象事業年度又は 前審査対象事業年度及び前々審査対象事業年度</p> <p>自 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">5</span> 年 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">1</span> 月 至 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">6</span> 年 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">2</span> 月</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">審査対象事業年度の 前審査対象事業年度</td> <td style="width: 50%;">6年4月～7年3月 5年4月～6年3月</td> </tr> <tr> <td>審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度</td> <td>5年4月～6年3月 4年4月～5年3月</td> </tr> </table>	審査対象事業年度の 前審査対象事業年度	6年4月～7年3月 5年4月～6年3月	審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度	5年4月～6年3月 4年4月～5年3月	<p>審査対象事業年度</p> <p>自 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">7</span> 年 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">1</span> 月 至 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">7</span> 年 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">2</span> 月</p> <p style="text-align: right;">計算基準の区分 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">2</span> (1. 2年平均) 2. 3年平均)</p> <p style="text-align: center;">審査基準日の年月を記入</p> <p style="text-align: center;">審査基準日の12か月前の年月を記入</p>		
審査対象事業年度の 前審査対象事業年度	6年4月～7年3月 5年4月～6年3月						
審査対象事業年度の 前々審査対象事業年度	5年4月～6年3月 4年4月～5年3月						
<p>( + ) / 2の金額を記入</p>							
<p>業 種 コ ー ド</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">0</span></p> <p>工事の種類</p> <p><b>土木一式 工事</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">完成工事高計算表</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">審査対象事業 年度の前審査 対象事業年度</td> <td style="width: 50%;">(240,000×9/12)+ (280,000×3/12)=250,000</td> </tr> <tr> <td>審査対象事業 年度の前々審査 対象事業年度</td> <td>(280,000×9/12)+ (360,000×3/12)=300,000</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">の算式を記入</p>	完成工事高計算表		審査対象事業 年度の前審査 対象事業年度	(240,000×9/12)+ (280,000×3/12)=250,000	審査対象事業 年度の前々審査 対象事業年度	(280,000×9/12)+ (360,000×3/12)=300,000	<p>完成工事高(千円)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">7</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">5</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">0</span></p> <p style="text-align: center;">の金額を記入</p> <p>完成工事高(千円)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">4</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;">0</span></p> <p style="text-align: center;">の算式を記入</p> <p style="text-align: center;">の算式を余白部分に参考記入</p> <p>180,000+ (240,000×3/12)=240,000</p>
完成工事高計算表							
審査対象事業 年度の前審査 対象事業年度	(240,000×9/12)+ (280,000×3/12)=250,000						
審査対象事業 年度の前々審査 対象事業年度	(280,000×9/12)+ (360,000×3/12)=300,000						

- 11 審査基準日からさかのぼって2ないし3年以内に事業の同一性を失うことなく組織変更を行った沿革を有する者は、当該変更に関わらず、変更前及び変更後を通じた審査基準日の直前2ないし3年の各事業年度における完成工事高を通算することができます。
- 12 審査基準日からさかのぼって2ないし3年以内に他の建設業者を吸収合併した沿革又は建設業を譲り受けた沿革を有する場合の完成工事高の算定方法については、事前に建設政策課建設業チームまでお問い合わせください。



### 13 一式工事の完成工事高に他の工事の完成工事高を含める取扱い

審査対象が、土木一式工事又は建築一式工事（以下「一式工事」という。）である場合は、許可を受けている建設業のうち審査対象として申請していない一式工事以外の建設業に係る建設工事（以下「専門工事」という。）の年間平均完成工事高を、当該一式工事のいずれかの年間平均完成工事高に含めること（以下「積上げ」という。）ができます。一式工事に含めることができる専門工事は次のとおりです。

一式工事名	含めることができる専門工事
土木一式	とび・土工・コンクリート工事のうち「とび」、「法面」を除く工事及び石工事
建築一式	大工工事、左官工事、屋根工事、タイル・れんが・ブロック工事、鉄筋工事、板金工事、ガラス工事、防水工事、内装仕上工事、熱絶縁工事、建具工事

（注１）一式工事に含めた専門工事は、審査対象工種にすることはできません。従って、公共工事で５００万円以上の専門工事を直接請け負おうとする場合は、その専門工事について経営事項審査を受けていなければなりませんので、一式工事に含めないで審査対象工種として申請する必要があります。

例：「とび・土工・コンクリート工事」のうち「とび」及び「法面」を除く工事を「土木一式工事」に含める場合、「とび・土工・コンクリート工事」の申請はできません。  
 なお、「とび」及び「法面」の完成工事高は「その他」に計上します。

（注２）一式工事及び一式工事に含める専門工事に係る工事経歴書は、その許可の種類ごとに作成してください。

（注３）積上げをするかは申請年ごとに見直しが可能です。したがって、今回の申請時に積上げをした場合でも、次年度以降の申請においては積上げをしないこととすることができます。ただし、審査対象事業年度分について積上げをした場合は、前審査対象事業年度分以前においても積上げをする必要があります。例えば、審査対象事業年度分のみ積上げし、前審査対象事業年度分は積上げしないことはできません。

#### 〔記入例〕

業種コード	完成工事高(千円)	元請完成工事高(千円)	完成工事高(千円)	元請完成工事高(千円)
32020	110052	104581	110052	104581
工事の種類	完成工事高計算表	元請完成工事高計算表	完成工事高 (前期) (当期)	元請完成工事高 (前期) (当期)
	審査対象事業年度の前審査対象事業年度	審査対象事業年度の前審査対象事業年度	建築 101,900 98,240	建築 101,900 98,240
	審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	審査対象事業年度の前々審査対象事業年度	大工 3,567 2,778	大工 2,169 1,973
建築一式 工事			建具 4,585 3,563	建具 2,255 1,860
			110,052 104,581	106,324 102,073

積上げをする場合、余白に内訳と合計を記載してください。余白が狭く記載できない場合は、別紙として内訳と合計を記載したものを作成してください。

### 14 国土交通大臣から認定を受けた外国子会社の完成工事高について

国土交通大臣から認定を受けた外国子会社の完成工事高については、申請者の完成工事高に含めることができます。この場合、国土交通大臣からの認定書が必要となります。認定の手続き等については、国土交通省にお問い合わせください。